

伝説と歴史の舞台を歩く

## 西野水道

長浜市  
DATA● 歩行距離 約10 km  
● 歩行時間 約2時間30分

(左)初代「西野水道」は長さ約250m。水路は狭く、所々で折れ曲がっている。(右上)2代目は湖岸に出る歩道になっている。(右下)3代目の放水路。

湖北の高月町西野は三方を山に囲まれ、集落の南を流れる余呉川は、大雨が降るとびに氾濫し、田畑が冠水した。水害と飢饉に悩まされ続ける村の惨状を見かねた西野充滿寺の住職・恵莊は、山を掘り貫き、川の水を琵琶湖へ流す放水路を造る決意をする。村人の協力を得て1840年に着手した大事業は、厚い岩盤のために困難を極めたが、約5年の歳月を経てようやく「西野水道」が完成した。

菊池寛の小説『恩讐の彼方に』のモデルになった大分県中津市の耶馬溪にある「青の洞門」。断崖絶壁であった交通の難所を開削した禅海和尚の物語は全国的に有名だが、滋賀県にも江戸時代に同様の逸話がある。

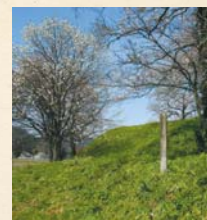
## 恵莊の発起で実現した近江の「青の洞門」

初代の放水路は県の史跡として整備保存され、見学が可能だ。水道内の壁にはノミで掘った跡が残っているそうだ。毎年6月の第1日曜日には、この偉業を記念する「西野水道まつり」が開かれている。現在は3代目(1980年完成)の放水路がその役割を担い、2代目(1950年完

成)は琵琶湖側へ抜ける連絡通路になっている。

JR高月駅からは公共交通機関の便が少なく、徒歩の場合は片道約4キロの道になるので、レンタサイクルを利用するのもいいだろう。古墳の多いエリアでもあり、古墳を巡りながらのんびり散策してみてもいいが。

田んぼの真ん中にある姫塚古墳は、物部古墳群のひとつ。4世紀前半の築造と考えられ、もともとは全長80m、高さ7mもあったそうだ。前方後方墳としては県内最大級の大きさ。西野集落のまわりにも、多くの古墳群が点在している。



姫塚古墳(高月町東柳野)



## モデルコース

JR高月駅 30分 姫塚古墳 30分 西野水道・ほりぬぎ公園 15分 西野薬師堂・充滿寺 50分 JR高月駅  
※移動時間はあくまでも目安です。

※レンタサイクルは高月駅東口の総合案内所で利用できます。  
※史跡西野水道では見学用の長靴、懐中電灯の貸し出しあり。

バックナンバーをKEIBUNホームページ「湖国滋賀ウォーキングマップ」で公開中!

<http://www.keibun.co.jp>

## “Walk on”とは

「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の意味があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな「近江」という舞台を、登場人物のひとりになった気分であいてみてはいかがでしょうか。